

2011年10月18日.

日本民教連 10月代表者会

(学習会)

「自然とともに学ぶ 旭丘高校のからだ講座の実践」

山口 理恵さん (教科研)

(議 題)

- 1) 9月11日(日)民教連の強化・発展をめざす懇談会を終えて
19団体30名参加
○第1部 総会
○第2部 夏季集会報告 (日生連・体育同志会・他団体)
- 2) 12月4日(日)第25回日本民教連交流集会について
: チラシ参照
- 3) 「民教連ニュース」について
1、9月号の反省・感想
2、11月号の編集内容
3、頁数について検討
4、2012年1月号 名刺広告を掲載
- 4) 名刺広告募集について
- 5) 加盟団体の参加・報告状況 一覧
- 6) そのほか

第21回日本民教連の強化・発展をめざす懇談会 報告

高柴光男

9月11日(日)に第21回日本民教連の強化・発展をめざす懇談会を南大塚地域文化創造館にて開催致しました。19団体、30名の参加者でした。

第1部：2010年度の活動総括と会計・監査報告、2011年度の活動方針、予算案の質疑と討論。自団体の委員会でこの総括と方針を確認しあった代表者から、内部討論の中で予算執行状況において「民教連ニュース印刷費」に支払われている部分が多いのではないか、また輪転機リース代の費用負担が多すぎるのではないかなどという質問が出されたという発言があり、担当者から今後「民教連ニュース」のページ数を減らす努力が必要になるとの方向が出されました。また、輪転機リース代と印刷時の使用代金についても諸団体の状況を把握する必要性が確認されるなど、論議が盛り上がり、“総会部分”を終了しました。

第2部：今夏の集会における経験交流。最初に行田稔彦日生連委員長が、8月6～8日まで名古屋大学において開かれた日本生活教育連盟夏季集会の様態を丁寧に話されました。参加者は、388名で、地元愛知県からは218名だったそうです。

行田委員長による報告の中で特に感銘深く伺ったのが、3・11大震災で死者・行方不明者合わせて、3929人(死者3170人、行方不明者759人)と、宮城県内でも最大規模の被災をされた石巻市でしたが、その市立雄勝小学校の徳水博志先生から現地報告をしていただいたお話でした。

70名の子どもたちを裏山に避難させた徳水先生の学校は、20mもの大津波で2階建ての校舎がのみこまれました。子どもたちと学校は今も河北中学校に避難生活です。震災後、自身たくさんの家族・肉親・知人を失われ、しばし茫然自失の状態でした。けれども、たくさんの人々の激励の電話があり、また地域の人々との交流に癒され元気を取り戻されます。「人とつながり希望をつなぐ」を学校再建のスローガンのコンセプトにします。地域の復興が学校の復興につながるの見通しで、子どもたちと一緒に周りに働きかけられ、復興祭を企画され、子どもたちが『南中ソーラン』を踊ります。地域の人々も、少しずつ元気になります。徳水先生たちは、漁協の仲間とともに“雄勝”再建のために、“かきの養殖”を目的にした「雄勝」合同会社を立ち上げられます。

徳水先生は、日生連大会でも、そのオーナー参加を呼びかけられました。すると、24名のオーナー希望者が得られたという、“+αのおまけ”がついた行田日生連委員長のお話でした。

引き続いて、学校体育研究同志会の児玉望さんと大貫耕一さんから、民間教育運動団体として注目される元気の出る報告がありました。児玉さんは、ベテランと若手の協働で10年後を見据えた大会運営をすすめて実行できたと自負されました。8月6日～8日という、たくさんの団体の大会と競合した開催期間でしたが、全参加者が615名、受付に記録された参加者は582名だったそうです。懇談会における意見交流でも指摘されたのが、参加者の年代でした。20代が179名で31%、30代が131名で22%と、20代と30代で53%をしめていたことが大いに着目されました。

大貫耕一さんは、民教連加盟44団体に呼びかけられた「特別講座」の企画について、協力団体への謝意と、239名の参加者を得られた16講座の特徴を話されました。特に大会前に開かれた他団体と事前検討会の中で、互いに研究内容面での交流が実現でき、それぞれの長い歴史と特徴を持つ16団体の協力を得られたことは、今後の共同企画に向けて大きなステップになったとも語られました。

「9・11民教連の強化・発展をめざす懇談会」では、音楽教育の会、家庭科教育研究者連盟、全国養護教諭サークル協議会、日本作文の会など各加盟団体から、それぞれの夏の大会の特徴や参加者、エピソード等が語られ、きわめて活発で有意義な意見交流ができました。

第25回 日本民教連交流研究集会

2011/10/18

(2011. 12. 4 和光小学校)

1. 分科会構成 (別紙参照)

- *レポート 26団体 28人
- *分科会の進め方――分科会の構成団体で話し合っ
て決める
司会/記録/会場準備/提案時間等
- *報告者への連絡――民教連担当者から伝える事柄
- ☆レポートの数 各分科会 20位 芸術 (第2分科会) 50
- ☆当日の進め方について
- *機材は原則として持ち込み。但し、ビデオデッキ等は借用。
必要な団体は連絡を。厳守*11/15 までに緒志宛 (042-491-3798)

2. 運営

- (1) 集合 9:00 表示、受付準備、資料袋づめ、会場準備等
- (2) 受付 9:30

3. 民教連担当者の仕事

- *常任委員会等で報告し、チラシを増し刷りして会員に配る。多くの
人に呼びかける。参加人数等を11月代表者会で報告する。
- *レポーターへの連絡
- *当日の参加 (集合 9:00)
- *全体会、分科会の運営がスムーズにいくような配慮及び実務

4. 宣伝・参加者の呼びかけ

- *チラシ配布 地域サークル・組合等・職場・知人・友人・機関誌等

※お弁当は、各自ご用意ください。

みんなで呼びかけて、参加者を増やしましょう

第25回日本民教

すべての子どもに楽しい学びを
学びを生きる力に

とき 2011年12月4日(日) 午前10時～午後4時15分

ところ 和光小学校(小田急線「経堂」下車)

全体会(10時～12時15分)

講演 いま、子育て・教育の基本を考える

—地球時代、子どもの発達・子どもの権利の視点から—



堀尾輝久さん

(東大名誉教授、DCI日本支部副代表)

参加費 1000円
(父母・学生500円)

和光小学校 〒156-0053 世田谷区桜2-18-18

TEL (03)3420-4353

※駐車場はありません。

※昼食は各自、ご用意下さい。

交通

□ 小田急線 経堂下車 徒歩12分

□ バス 渋谷～成城学園

農大前下車 徒歩5分

□ 東急新玉川線 用賀駅下車

□ バス 用賀～世田谷区民会館

農大前下車 徒歩5分

主催 日本民間教育研究団体連絡会 03-3947-5126

問い合わせ ^{おし}緒志 (0424-91-3798) 夜間

加盟各団体 民教連担当者様 事務局長様

「民教連ニュース」新年号 名刺広告募集についてのお願い

日ごろ「民教連ニュース」にご協力くださいます。ありがとうございます。例年のように、二〇二二年新年号に加盟団体および有志個人による名刺広告を掲載いたしますので、ふるってご応募下さい。版下又は原稿と料金(二コマ三千元、三コマ六千元)をお届けください。

・版下 一コマ縦六センチ×横二・三センチ。三コマ縦六センチ×横七センチ。文は縦書き、横書き自由。・原稿 左の原稿用紙に記入して下さい、一行一七字。一コマ五行、三コマ一五行。文は縦書きのみ。大字二行どり。・締切 十一月二四日 十一月代表者会に料金をもそえて。

・送り先 一七〇〇〇〇五 東京都豊島区南大塚二一七一〇 日本民間教育研究団体連絡会・〇三三三九四七
一五二二六・FAX〇三三三二一九二六四六・振替 〇〇一六〇一五二三四〇八四

「民教連ニュース」名刺広告 原簿

申し込み人 お名前

団体名

連絡先 ☎

謹賀新年

二〇一一年 元旦

日本民間教育研究団体連絡会

日本子どもを守る会

花には太陽を

子どもには平和を

日本と世界の平和な未来と
すべての子どもの幸せのために

中原 正 木

日本民間教育研究団体連絡会世話人代表

美しく力のつく国語の授業を創る！
文学・説明文・漢字・文法・作文の理論と実践

隔月刊 国語の授業

児童言語研究会委員長 森 慎
〒168-0074 杉並区上高井戸三十一番五
☎〇三(三三三)〇五九五五

子育てと教育に役立つ雑誌

『生活教育』

日本生活教育連盟

世田谷区桜一十八ー十八 和光小内

☎〇三(三三四)二〇一四三五三

子どもと共に音楽の喜びを

音楽教育の会

調布市深大寺東町六一一五ー一四

米沢純夫 ☎〇四(二一四四)〇一七八三

☎〇四(二一四四)〇一七八四

▽春の研究会 4/23・24 with you さいたま
▽第52回大会 8/4・5・6 さいたま市埼玉会館
▽美術教育誌「美術の教室」年2回発刊

美術教育研究 『新しい絵の会』

“舞い学び・踊り育つ”

体がよろこび、心がひらかれる教材
を民族芸能の中に見出し、先達たち
の知恵を自分たちの知恵に重ね、深
めることを大切にしながら、子ども
と共に学びの場を創っています。

民族舞踊教育研究会

◎月例会 第三土P.M.3:30 和光小学校

◎機関紙 購読をお勧めします!!

東田 晃 ☎〇三(三三四)二〇一四三五三

古矢比佐子 ☎〇四(六五)一四七一九三三三

青木 峰子 ☎〇四(二一七四)五二九四五

■障害者の権利を守り、発達を保障するために
障害者は平和でなければ生きられない!

.....2011年イベント

発達診断セミナー	2. 20	福岡
学生発達保障セミナー	3. 5-6	京都
第20回発達保障研究集会	3. 19-20	京都
第45回全国大会	7. 30-31	大阪

全国障害者問題研究会 (全障研)

全国委員長 荒川 智

月刊・みんなのわがい/季刊・障害者問題研究
ホームページ www.nginet.or.jp

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-15-10-4F
Tel:03-5285-2601 Fax:03-5285-2603

2011年度 日本民教連加盟団体略称名一覧

		懇談会		交流研				懇談会		交流研			
加盟団体		9・11		12・4				加盟団体		9・11		12・4	
1	絵の会			田中真奈美				24	全進研	2		綿貫公平	
2	新書研							25	全生研			小室 貴	
3	音楽教育	2		富澤ひろみ				26	到達研				
4	科教協	1		岩間 滋・伊東裕子				27	全農研				
5	家教連	2		海野りつ子				28	全国保問研				
6	学力研	1		赤堀嘉範				29	全民研	1			
7	同志会	3		小川 匠				30	全養サ	1		渡辺みどり	
8	教科研	1		石田かづ子				31	全養協				
9	技教研	1						32	地域と教育				
10	国字研							33	地教研	1		戸倉信一	
11	手労研			鈴木隆司				34	どの子研				
12	子全協	2		中原正木				35	演教連			高崎 彰	
13	産教連	1		井上寿夫				36	日作	1		中村 博	
14	児言研			渡辺真由美				37	日生連	2		横田文夫	
15	新英研							38	文教連				
16	人間の歴史							39	日文協			中村龍一	
17	社全協							40	性教協	1		谷森櫻子	
18	数教協	1		加藤久和・塩沢宏夫				41	文教研				
19	数実研							42	文芸研				
20	制度研			平間輝雄				43	進める会			斉藤武博	
21	高生研							44	民舞研			伊藤涼子	
22	全障研			船橋秀彦				45	歴教協	1		野口裕行	
23	商教協	2						46	表教研				
									賛助	1			
									事務局	1			

日本民教連 2011年度 月別 分担表

	世話人会司会	代表者会司会	代表者会講師	ニュース巻頭言	ニュース礼状	三大集会講師	三役会
10月	11日(火) 青木峰子	18日(火) 青木峰子	山口 理恵 (旭丘高校)				4日(火)
11月	8日(火) 池上正道	15日(火) 池上正道		(戸倉信一)			1日(火)17:30~
12月	13日(火) 白鳥晃司	4日(日) 白鳥晃司				堀尾 輝久 東京大学名誉教授 DCI日本支部副代表	6日(火)
1月	10日(火) 緒志久子	17日(火) 緒志久子		()			
2月	7日(火) 高柴光男	14日(火) 高柴光男					
3月	6日(火) 戸倉信一	13日(火) 戸倉信一		()			
4月	10日(火) 五島明子	17日(火) 五島明子					
5月	8日(火) 金子 眞	15日(火) 金子 眞		()			
6月	5日(火) 青木峰子	10日(日) 県民教合同集会 九条の会と共催				小澤 隆一 東京慈恵会医科大学 憲法学・政治学	
7月	3日(火) 池上正道	10日(火) 池上正道		()			
8月	14日(火) 白鳥晃司						
9月	4日(火) 緒志久子	9日(日) 強化・発展懇談会		()			